

2019年02月19日

課題名：我が国の小児CT検査で患児が受ける線量の実態調査（2018）

◆研究の目的と概要◆

本研究は、小児CT検査を受けた患児について全国の小児CTによる医療被ばく線量を調べることによって診断参考レベル改定を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

川崎医療福祉大学倫理委員会承認日（2018年7月26日）から2020年2月28日までの診療時間内（夜間・休日を除く）に、小児CT頭部、胸部、腹部検査を受けられた方。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、性別、身長、体重、撮影部位、撮影条件、CTDIvol（線量指標）、DLP（線量指標）

◆研究方法◆

上記の情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して電子的配信提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

川崎医療福祉大学竹井泰孝先生が主体となって実施しており、全国の国公立大学附属病院や小児専門病院等の特定機能病院、各地域の基幹病院や特定機能病院（約1500施設）が参加しています。

主体のホームページ <https://w.kawasaki-m.ac.jp/data/3595/teacherDtl/>

主任研究者：川崎医療福祉大学診療放射線技術学科 准教授 竹井 泰孝

分担研究者：国立成育医療研究センター 医長 宮崎 治

金沢大学医薬保健研究域保健学系 准教授 松原 孝佑

大同病院 主幹 鈴木 昇一

国立がん研究センター東病院 診療放射線技師長 村松 禎久

倉敷中央病院 診療放射線技師 福永 正明

国際医療福祉大学 教授 赤羽 正章

- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

医療技術部門 放射線技術部 研究責任者 福永 正明

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明